

受験番号

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち1)

1

得点

(1)

曲順	楽 曲 名	作 曲 者 名
ア	「 幻想交響曲 」より	ベルリオーズ
	「 舞踏会 」	
イ	「 ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 」より第1楽章	メンデルスゾーン
ウ	カンタータ「カルミナ・ブラーナ」より	オルフ
	「 おお、運命の女神よ 」	
エ	「 子供の情景 」より	シューマン
	「 トロイメライ 」	

(2)

オ	① 能
	② 謡
	③ 羽衣

(3)

カ	国または地域	D
	楽器名	バラライカ

受験番号

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち2)

2

得点

1. 題材名「言葉によるリズムアンサンブルを創作しよう。」

教材：A「おうまがとおる！」(小林一茶の俳句により／滝口亮介作曲)

または

B「くいしんぼうのラップ」(和田 崇 作・構成)

2. 題材の目標

- ・言葉の特性(言葉の抑揚、リズム)や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら歌ったり創作したりする学習に主体的に取り組む。
- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音素材の特徴を生かし、どのように演奏・創作するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。
- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。

3. 題材の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
言葉の特性(言葉の抑揚、リズム)や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌ったり創作したりする学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素(リズム、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音素材の特徴を生かし、反復、変化などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように演奏・創作するかについて思いや意図をもっている。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌ったり創作したりしている。
/	/	/

受験番号

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト



中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち3)

2 (続き)

いずれかに○を記す

4. 指導計画・評価計画

選択した教材

A

B

※選択した教材の記号に○印を記せ。

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点、評価規準 及び評価方法
1	- リズム譜を見ながら演奏を聴く。 - 気づいたことをワークシートに記入する。 - 使用されている言葉を読み、言葉のリズムと抑揚について考える。 - リズム譜を見ながら、1パートずつ全員で練習する。 - 曲の構成について考える。 - グループごとにパートを決め、アンサンブルの練習をする。 - 全員で合わせる。 - 次時の学習活動で、言葉によるアンサンブル曲を創作することを知る。	[本時のワークシート] ①演奏を聴いて気づいたこと。 ②言葉のリズムを調べよう。 ③曲の構成について。 - 言葉の抑揚が2つの音高や音符の長さで表現されていることに気づかせる。 - 言葉の抑揚とリズムに気をつけて演奏する。 - リズムの重なり方、強弱、全体の構成を説明する。 - 次回の創作活動で使う言葉(川柳や七五調の言葉)を1つ考えてくることを指示する。	【音楽への関心・意欲・態度】 言葉の特性(言葉の抑揚、リズム)や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)
2	- 前時の学習活動を振り返り、各自で選んだ言葉を用意する。 - ワークシートに選んだ言葉を書き、言葉の抑揚に合わせた基本リズムを記入する。 - 各グループでお互いの作品を交流し合う。 - 作品を交流する中で、グループごとに作品を1つ選び、アンサンブル曲を創作する。 /	[本時のワークシート] ①考えてきた言葉を書こう。 ②基本となるリズム考え、リズム譜に表そう。 ③グループで作品を交流し合おう。 - 約束事を示し、それをもとに創作するよう説明する。(約束事:4/4拍子、4小節で作成するなど) - 前時で学習した「言葉によるリズムアンサンブル」のリズムの重ね方を参考に創作するよう説明。 /	【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素(リズム、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音素材の特徴を生かし、反復、変化などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように演奏・創作するかについて思いや意図をもっている。 (観察・ワークシート) /
3	- グループごとに前時で創作したアンサンブル曲を練習する。 - リズムの反復、変化、重なり方や強弱が効果的に用いられているか確認する。(グループ内で交流) - グループごとに発表をする。 - 学習してきたことをふまえ、1時間目に学習した曲を演奏する。	[本時のワークシート] ①工夫した点、聴いてほしい点。 ②グループでアンサンブル曲を演奏して、良かった点、気づいた点。 ③振りかえり…創作した曲と1時間目に学習した曲を比べよう。 (強弱や構成など既習曲と比べてどうだったか、など) - グループ練習で、基本のリズムを交互に歌ったり、重ね合わせたりして変化をつけるよう指示する。 - 振りかえりでは、何をポイントに比較するのかを具体的に示す。 /	【音楽表現の技能】 声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌ったり創作したりしている。 (演奏の聴取) 【音楽への関心・意欲・態度】 言葉の特性(言葉の抑揚、リズム)や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌ったり創作したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 (観察・ワークシート) /

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち4)

--

3	得点	
---	----	--

(1)

Oboe

Viola

Cello

3 3 3

--	--	--	--

(2)

クラリネット (in A)

Cl.

--	--	--	--

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち5)

4	得点	
---	----	--

--

(1)

箏2	箏1
才四	為
六	
七	為
	巾
四	為
五 (まだは一)	斗 十
七	九
	九
二五 (まだは一二)	十
	十
二六	為
	斗
五 (まだは一)	十
八	
十	〇

(2)

乃木調子	(ア) /	楽調子	(ウ) /
------	-------	-----	-------

--

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

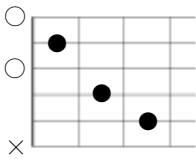
中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち6)

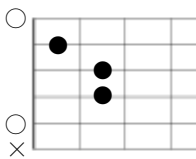
4 (続き)

--

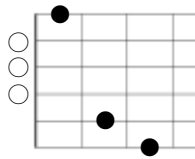
(3)



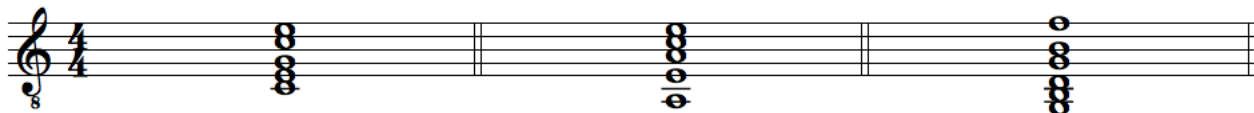
[C]



[Am]



[G7]



(4)

a … 始めの旋律 (フレーズ) a' … a に似た旋律 (a の反復、変化)

b … a と異なる旋律 (対照) b' … b に似た旋律 (b の反復、変化)

a a' と b a' など、まとまりどうしの関係を、反復、変化などという場合もある

続く感じ → 終わる感じ

一部形式 (例)

	a	→	a'
	a	→	b

二部形式 (例)

	a	→	a'		b	→	a'
	a	→	a'		b	→	b'

三部形式 (例)

	a	→	a'		b	→	b'		a	→	a'
	a	→	a'		b	→	b'		a	→	a'
	a	→	b	→	a						

--

受験番号	
------	--



平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽 解答用紙

中学校 特別支援学級(音楽)解答用紙 (7枚のうち7)

--

4 (続き)

(5)

曲名	早春賦	／
作詞者名	吉丸 一昌	
作曲者名	中田 章	
歌詞	春は 名のみの 風の 寒さや	
